

蠟梅 Now

当法人のシンボルツリー「蠟梅」が開花した。年が明けのを待たずに……。二十四節期では立冬（11月7日頃）から立春（2月4日頃）までを冬とする。暖冬といわれた予測に違わずこの冬の訪れは遅く、この様子では開花が待てないのではと思いつつ12月25日に見に行ったところ、やはり3輪の開花が見られた。

2004年に法人を設立、7月の設立記念行事の一環で小山基金に縁の蠟梅を植樹したものが、翌2005年には、今から思えば植樹直後の影響でもあったのか、やや遅めの2月18日頃に開花した。以降の開花は、2006年（1月23日頃）、2007年（1月18日頃）、2008年（1月15日頃）、2009年（1月6日頃そして12月25日頃）と、ついに、年をまたいで繰り上がってしまった。温暖化のバロメーターなのだろうか。蠟梅の開花時期は12月25日頃から3月15日頃といわれているが、1～2月が多いようである。

地球温暖化抑制のための低炭素社会への移行が叫ばれており、鳩山新政権は、温室効果ガス削減の中期目標について、1990年比で2020年までに25%削減を目指すと表明した。産業界では温室効果ガスを大量に排出する業種の懸命な努力に加え、新しい施策として太陽光や風力による新エネルギーの創出が活発になっている。加えて、自動車の動力として電池とのハイブリッド機構の採用拡大、電気自動車や燃料電池自動車の開発促進と大きな流れができようとしている。

蠟梅も地球環境保全のために警鐘を鳴らし、その行く末を見定めようとしているかのようである。



以上

《発行者》

特定非営利活動法人 未来技術フォーラム神戸
事務局長 大森 信
〒657-0845 神戸市灘区岩屋中町 4-2-7
TEL&FAX : 050-2014-2293 (IP Phone)
E-mail : info@npo-ffk.or.jp
URL : <http://www.npo-ffk.or.jp>